

2016年6月下旬配本予定

ISBN978-4-907210-37-3 C0070

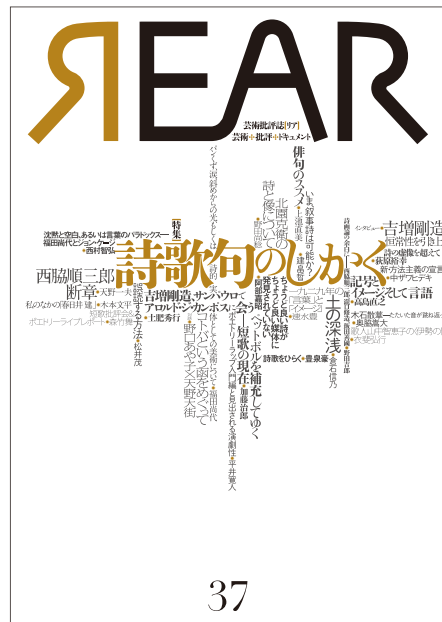
A5判並製188ページ 本体450円

REAR no.37

特集 詩歌句のしかく

REAR37号は、はじめて文芸分野を特集。詩・短歌・俳句などの「言葉」と「イメージ」の関係を多角的に考察します。

巻頭インタビューは東京国立近代美術館で大規模な個展を開催中の詩人・吉増剛造さん。新進気鋭の歌人・野口あや子さんと、劇作家・演出家で「少年王者館」主宰の天野天街さんによる対談は、名古屋・大須の七ツ寺共同スタジオを特別にお借りして、ライブ形式で収録しました。西脇順三郎、宮澤賢治、瀧口修造、北園克衛、新国誠一、塚本邦雄、山田航、ポエトリーラップ…さらには中部地域の豊饒な「短歌」の命脈を探り、批評機能の現況と背景、SNS環境における短詩型のあり方まで、コトバとシカク（視覚、視角、四角、死角、刺客…そして詩客）にまつわる刺激的な論考が繰り広げられます。福田尚代さん、中ザワヒデキさんらの作品掲載、井上有一展やダンスとラップ公演のレビューなど、言葉をめぐるアートの動向が浮かび上がる1冊です。批評欄では、いま注目の「地域アート」や河原温作品について、気鋭の論者が寄稿しています。



contents

■特集【詩歌句のしかく】

恒常性を引き上げる—手と眼と歌	インタビュー:吉増剛造
ちょうど良い詩がちょうど良い媒体に発見されていない	阿部嘉昭
いま、叙事詩は可能か?	建島 哲
一九二九年の「言葉」と「イメージ」	速水 豊
詩画論の余白に——西脇順三郎、瀧口修造、飯田善國	野田吉郎
西脇順三郎断章	天野一夫
記号とイメージ、そして言語	高島直之
北園克衛の詩と像について	野田尚稔
パンくず、涙、斜めからの光、もしくは詩的実体としての美術について	福田尚代
沈黙と空白、あるいは言葉のパラドックス—福田尚代とジョン・ケージ	西村智弘
新・方法主義の宣言と作品	中ザワヒデキ
誤読する方法	松井 茂
土の深淺	倉石信乃
木石散華 —たいた音が跳ね返ってくること	奥脇嵩大
吉増剛造、サンパウロでアロルド・ジ・カンポスに会う	土肥秀行
詩歌をひらく	豊泉 豪
コトバという函をめぐって	対談:野口あや子×天野天街
詩の虚像を超えて	荻原裕幸
私のなかの「春日井 建」	木本文平
歌人山中智恵子の〈伊勢の闇〉を巡って	衣斐弘行
ペットボトルを補充してゆく—短歌の現在	加藤治郎
俳句のスヌメ	上池直美

ポエトリーラップ入門編と見出される演劇性	平井寛人
短歌批評会&ポエトリーライブ レポート	森竹 舞
【批評】	
アート、地域、プロジェクト それを評するのは誰か	中村史子
アートをめぐるネゴシエーションの現在	
——「名前に反対」展と《洪家》にみる“炎上するコミュニズム”	F. アツミ
抜殻と奈落 豊田市美「時と意識一日付絵画とコレクション」を見て	林 道郎
【レビュー】	
森羅万象—現代美術in豊川 大小島真木+津田隆志	楠本亜紀
山水の構造「山口啓介 カナリア」	中井康之
生誕百年記念 井上有一	花里麻理
ポジション2016 アートとクラフトの蜜月	高橋秀治
撮ることと、それを拒むこと 土方宏史「ヤクザと憲法」	越後谷卓司
煎茶—山本梅逸と尾張・三河の文人文化—	伊藤大輔
あいちトリエンナーレ地域展開事業「となりの人びと—現代美術in春日井」	田中由紀子
第8回円空大賞展 森羅万象宿精靈	平林 恵
スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展	副田一穂
少年王者館 第38回公演「思い出し未来」	吉永美和子
ダンスとラップ 島地保武×環 ROY『ありか』	山川 愛

他

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922** TEL:03-6715-6121 MAIL: info@tsubamebook.com <http://tsubamebook.com>

書店名 (番線印)	リア制作室 http://2525kiyo.cocolog-nifty.com/	
	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人	
	冊	新刊 REAR no.37「詩歌句のしかく」 ISBN978-4-907210-37-3 C0070 A5判並製188ページ 本体450円+税
	冊	no.38以降定期『REAR』
ご担当: 様	冊	バックナンバー 本体各450円
	冊	REAR no.36「特集 2015 戦争を視る」ISBN978-4-907210-36-6 C0070
	冊	REAR no.35「特集 主題としての〈こども〉」ISBN978-4-907210-35-9 C0070